



平成 23 年 5 月 6 日

各 位

会 社 名 三井松島産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 串間 新一郎
(コード番号 1518 東証 福証)
問合せ先 常務執行役員経理部長 高田 義雄
(TEL. 092-771-2171)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 2 日に公表しました平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想の修正及び特別損失の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 11 月 2 日)	百万円 82,000	百万円 3,600	百万円 3,200	百万円 4,000	円 銭 28.85
今回修正予想(B)	87,000	3,100	2,600	4,500	32.46
増 減 額(B-A)	5,000	△500	△600	500	
増 減 率(%)	6.1	△13.9	△18.8	12.5	
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期)	61,014	4,803	5,250	3,463	30.00

2. 修正の理由

平成 23 年 3 月期通期の業績予想につきましては、売上高は、主力の燃料事業において、国内における石炭販売が、鉄鋼向け原料炭及び電力向け一般炭の追加受注などにより上半期に引き続き堅調に推移したこと並びに販売単価も高値推移したことなどにより増加し、予想を上回る見込みとなりました。

営業利益及び経常利益は、国内における石炭販売は堅調に推移しましたが、建機材事業の業界低迷や長崎県池島炭鉱跡地において取組んでいるリサイクル・合金鉄事業の本格操業の遅れなどから予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益は、下記の通り、上記リサイクル・合金鉄事業を営む国内子会社などにおいて固定資産の減損損失 1,960 百万円を特別損失に計上しますが、一方、平成 22 年 12 月 1 日に開示した投資有価証券売却益 3,141 百万円を特別利益に計上することなどにより、予想数値を 500 百万円上回る見込みとなりました。

3. 特別損失の計上及びその内容

(1) 固定資産の減損損失の計上について(連結)

当社並びに連結子会社が保有する固定資産のうち、稼働率の低い土地や収益性の悪化が見られるものについて回収可能性を検討した結果、平成 23 年3月期決算(連結)において、リサイクル・合金鉄事業に取り組んでいる連結子会社池島アーバンマイン株式会社の固定資産 1,764 百万円など、総額 1,960 百万円を減損損失として特別損失に計上いたします。

なお、同社は、平成23年度以降の安定操業確保に向け、収益改善のための抜本的対策を推し進めることとしております。

(2) 関係会社貸倒引当金繰入額等の計上について(個別)

当社は、上記の連結子会社池島アーバンマイン株式会社における減損損失の計上に伴い、当社が保有する関係会社株式について財政状態及び経営成績等を精査した結果、平成 23 年3月期決算(個別)において、関係会社株式評価損 64 百万円及び貸付金について関係会社貸倒引当金繰入額 3,029 百万円を特別損失に計上いたします。

なお、関係会社株式評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額につきましては、連結上は消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

以 上